

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯人 福島縣石城郡平町紺屋町十四
印 刷 所 加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五
發 行 所 鎌城時報社
一部金貰錢 一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
日刊 (日曜祭日休刊)
平町に於ては役場新築上水道擴張、小學校建築等新事業計畫が
車で平町に來り平驛午前二時三十二分發の上り急行列車で上京し豫て滯京運動中にある小野善縣議外高木小名濱助役及五名の町議と會合協議の上内務、大藏兩大臣に直接復活のため熱烈なる猛運動を開始した。
ひ十一日午前二時委員一同自動車で平町に來り平驛午前二時三十二分發の上り急行列車で上京し豫て滯京運動中にある小野善縣議外高木小名濱助役及五名の町議と會合協議の上内務、大藏兩大臣に直接復活のため熱烈なる猛運動を開始した。
私の想像では
中止ではなし
小名濱築所長 横木技師談
本省から十一日正午通知がありました、それは工事中止とか繰延とかいふではなく、たゞ四年度の實行豫算確定まで一切の物品購入を見合せとあるだけです、内務省の方針としては恐らく實行豫算確定まで購入を見合せよといふだけの中止するものではないか、どうと解釋してゐます、仕事の方も著々進み機械の購入を行なしたものもあり實は數日前から石城、双葉より茨城、平潟地方まで砂利購入の調査をなしあ未だ歸つて來たばかりのところです、商港はたゞ一小名濱の問題でなく東北一般から見て速かに完成の必要があると信じますので是非豫定の年度内に完成するやうにしたいものです。

澤山あり財源は何れも町有財産の處分と其不足に對しては全部町債に依ることとなつて居るが同町ではそれ等に關して町有財産の正確なる調査をなす必要に迫られて過般調査中であつたがこの程終了した、その調査に依る財産高は合計四十三萬三千二百七十八圓である。

松枝氏に次いで
医学博士
論文はス
磐城共二
平町磐城共濟病院では過般產科
婦人科擔當醫松枝茂氏が迷走神
經の研究によつて博士の學位を
授與さるゝに至つた旨既報の如
くであるが、今回又々内科部長
中西林藏氏が脾液の研究によつ
て博士號を授與さるゝ事になつ
た。中西林藏氏は横濱第一中學
校から千葉醫專に入り大正十年
卒業後二ヶ年間千葉醫專附屬病
院内科に在つて研究を積みその
頃から消化器の一部として最も
重要な機能を有する脾液の研
究に志し大正十三年東北帝國大
學病院に於て井上博士に就いて
研究を積む事六ヶ年昨年春磐城
共濟病院内科部長として來任し
た人であるが、論文は去る六月
東北帝國大學に提出し僅か二週
北海道へ
徒步旅行の
(第一信) 北海道

中西氏　上となる　ハイ液の研究　済病院内科部長　間で七月六日教授會を通過したものである。

（つづく）

錦村絞川誇揚會主催ボートレー
スは十四日絞川橋から下流佐糠
までの間で行ふと。
物である。

△植田自動車協會 植
田自動車協會では今回總會にお
いて役員改造を行つた結果左の
如く決定した。

▲副支部長渡邊重三郎 ▲幹事
長北郷廣吉、鈴木子之吉、常
議員大平芳春、佐藤淺吉、青天
日信次郎、佐藤義弘

てゐるのを下げて急いで乗込
む、そして感じた事は、急行
列車でありながら漸々時速廿
哩内外と云ふ内地で見られな
い速力であつた、此の遅い、
牛様な列車の車窓から外を見
てゐる事、内地とは全て異つ
た黒土の上にはボアラの木が
何所迄も續いてゐる、小兎達
の間に馬スカンボと呼ばれて
ゐるあの草なぎが材木の様な
落と混つて八九尺と云ふ長尺
に伸びてゐる野原だ、而も平
野であるながら耕作されてゐる
地が極めて少い、これは人手
が不足なので投出であるのだ
が、此など内地では見る事の
出来ない殖民地特有のものだ

離婚訴訟

四年越しの離婚訴訟が、十五日判決言渡し。平町白銀町居住和田キミ(三八)は同町三丁目質屋業和田禎宗を相手取り一萬圓の慰藉料請求並に離婚の訴訟を平區裁判所に提起し四年越の争ひを續けて居るがいよいよ来る十五日平區裁判所に於て千葉裁判長係り原告側護士出廷の上判決言ひ渡しとなるが告訴理由は被告が常に病身のため病氣看護に看護婦上田ハナ(二七)を雇ひたるが遂に懲りなり妻キミを殴打虐待するのであたまらず遂に右の訴訟を起したものである。

北米通信

(九)

C M 生
会場へ着くと間もなく主催者米國外國代理の開會の辭があつた。型の如く會は進んで七時になるとダンスコース。文字通り孔雀の如く綺羅を飾つたレディー、それにつれそつ十八娘燕尾・タキシード、稀には軍服も交つた殿方連・ジヤズ、五色の酒・シャンパン等まさにシャンゼリゼ、黒赤、純白、グリーン、青等また

半町真木辯護士、被告側安藤辯護士出廷の上判決言ひ渡しとなるが告訴理由は被告が常に病身のため病氣看護に看護婦上田ハナ(二七)を雇ひたるが遂に懲りなり妻キミを殴打虐待するのであたまらず遂に右の訴訟を起したものである。

三井炭礦講演會

石城郡磐崎村藤原三井礦山會社内共濟組合主催で去る七日午後一時より精神修養講演會を開き、木根主事開辭、茨城縣禁酒貯蓄會長藤淵寅三郎氏教育勅語を捧讀し「心眼を開く」の講演、伊藤南州氏の講談があり聽衆七百名盛會であつた。

つたりや一の谷。こゝにも氣じみた、然し否定できぬ活動的の高速度の米國。

躍つて、そして醉つて、十一頃

時、まだ躍り狂ふダンス

連を後に、同宿の佛國外務省

の二等書記官シェーン君と間

人所持金合計してやつと一

弗といふ無類の金額沸底振り

だつたのですから。光と人も

漸く薄い大通りの闇をついて

ベットにもぐりこめば後は白

河夜船の高駄と。こゝらは内

密の事。あの祟りが恐るし

から。

いたのだから。光と人も

漸く薄い大通りの闇をついて

ベットにもぐりこめば後は白

河夜船の高駄と。こゝらは内

密の事。あの祟りが恐るし